

1 級試験 受験申込者各位

ネイリスト技能検定試験『1 級実技試験』  
トレーニングハンド規定の再改定のお知らせ

この度はネイリスト技能検定試験にお申込みいただきありがとうございます。

既にご案内の通り、JNEC では、ネイリスト技能検定試験における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、受験生、モデル、試験官など、試験に関わる全ての方の安全面を最優先に考慮して、9月19日（土）と12月26日（土）に開催の『1 級実技試験』につきましては、これまでの「モデル同伴」から「トレーニングハンドの使用」に変更いたしました。トレーニングハンドを忘れた場合やモデルを同伴された場合は受験できません。また、この変更に伴い、実技試験時間を 150 分⇒160 分と 10 分延長いたしました。

そして、この度8月21日改定としてトレーニングハンドによっては、指間を広げるのに相応の力が必要であったり、また、広げにくい、あるいは広げても元に戻ってしまう場合もあるため、「トレーニングハンド規程」の一部を変更致しました。（すでに該当者の方にはハガキにてお知らせしております）

尚、この度のトレーニングハンドの使用および実技試験時間の延長は、コロナ禍における期間限定の特例措置となります。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、上記特例措置の期間が延長となる場合があります。

1 級試験の受験生は、以下の【トレーニングハンド規定】をご確認頂き、試験に臨んでいただきますようお願いいたします。

●トレーニングハンドの使用見本やテーブルセッティング例は、JNEC ホームページに掲載しておりますので下記 URL をご確認ください。

[<http://www.nail-kentei.or.jp/pdf/traininghandgazou.pdf>]



**【1 級トレーニングハンド規定】**

2020 年 8 月 21 日改定

1 級実技試験はトレーニングハンドのみの受験とします。モデル同伴での受験は出来ません。

1. 1 人 2 個、下記の条件のトレーニングハンドをワンセットで使用するごと。

- ① 右手用、左手用をそれぞれ 1 個ずつ      ② 右手用を 2 個      ③ 左手用を 2 個

「右手」「左手」が分かるようにトレーニングハンドの手首（手の甲側）の位置に「右手」「左手」と記載した品名ラベルを貼付するか、または黒マジックで事前に記入すること。もし、試験中に品名ラベルがはがれた場合は貼り直しをすること。審査開始時に黒マジックでの記入がされていない場合や品名ラベルが貼られていない場合は減点。

2. トレーニングハンドは、キューティクル周りに著しい汚れ、傷など（審査に支障をきたすようなもの）がついていない清潔なものを使用すること。
3. 既製品にあらかじめ加工されているもの以外に、自分で文字や線、目盛などを記入したトレーニングハンドを使用した場合は失格。
4. トレーニングハンドを固定するためのアームや吸盤などは使用不可。
5. 手首部分に「左手」「右手」の表記やラベル貼付をするため、手首部分があるものを使用すること。指の部分が着脱可能なトレーニングハンドは使用不可。
6. トレーニングハンドは試験開始時には擦式清拭消毒をすること。トレーニングハンドに装着できるのは、チップ、フォーム、「（右手）」「（左手）」記載の品名ラベルのみとする。
  - ① トレーニングハンドの指部分が固い場合、指間を広げる指を下向きにするため、相応の力が必要であるが、出来る限り人の手と同様に丁寧に扱うこと。
  - ② トレーニングハンドの指間が広げにくい、広げても元に戻りやすい場合、指間への挟み込みを消毒済みの C カーブ用スティックのみ使用可能とする。
7. 使用するチップはナチュラルのみとし、事前に 10 本すべてに装着してくること。チップの装着方法の指定はないが、試験中に外れないように装着すること。試験中にチップが外れた場合はすぐに付け直すこと。審査開始時にチップが外れていた場合は失格。また、試験終了時にはすべての指を伸ばしておくこと。試験終了時にすべての指が伸びていない場合は減点。
8. 装着するチップは、モデルに施術する場合と同じように、フリーエッジの長さや形を整えておくこと。ただし、サンディングは試験時間内に行うこと。
9. サイズのあっていないチップを使用した場合や、チップの装着状態が不適切な場合は減点。また事前にサンディングをしている場合も減点。
10. ミックスメディアアートのプレスオンチップは、事前に装着しているチップの上に装着すること。
11. テーブルセッティング及び試験中は、アームレスト、タオル、ペーパーの上で施術を行い、直置きしないこと。